

平成 27 年 10 月 22 日

各 位

会 社 名 株式会社モバイルファクトリー  
 代表者名 代表取締役 宮 崎 裕 二  
 (コード：3912 東証マザーズ)  
 問合せ先 執行役員計数管理部長 谷 本 洋  
 (TEL. 03-3447-1181)

### 業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 27 年 10 月 22 日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 27 年 3 月 26 日付「東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」において発表しました「平成 27 年 12 月期の業績予想（通期）」、及び「平成 27 年 12 月期の配当予想（期末）」を修正することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

#### 1. 業績予想の修正について

(1) 平成 27 年 12 月期の業績予想数値の修正（平成 27 年 1 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日）

【連 結】

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	百万円 1,633	百万円 241	百万円 234	百万円 147	円 銭 66.35
今回修正予想 (B)	1,717	254	246	150	64.84
増減額 (B - A)	84	12	11	2	—
増減率 ( % )	5.2	5.2	5.1	1.7	—
(ご参考) 前期実績 (平成 26 年 12 月期)	1,540	211	212	118	58.08

- 当社は、平成 27 年 7 月 31 日付で株式会社ジーワンダッシュを設立したことに伴い、連結決算に移行することといたしました。影響は軽微と予想されております。上記の「前回発表予想」、及び「前期実績」は単体数値でありますが連結数値と読み替えて記載しております。
- 1 株当たり当期純利益は、オーバーアロットメントによる売出しに関する第三者割当増資を行ったため、平均株式数が増加しており、前回発表予想より減少しております。

#### (2) 修正の理由

第 3 四半期連結累計期間実績の当初業績予想（通期）に対する進捗と、第 4 四半期連結会計期間での計画を考慮し、適時開示の要件には該当してはおりませんが、業績予想の修正を行います。詳細につきましては以下に記載のとおりです。

なお、当社は第 3 四半期連結会計期間から連結決算に移行しておりますが、連結子会社による影響は軽微であり当該業績予想の修正に影響を与えるものではありません。

① 当初業績予想（通期）及び第3四半期連結累計期間の業績比較

項目(単位：百万円)	当初業績予想 (通期)	第3四半期 連結累計期間 実績	進捗率
売上高	1,633	1,243	76.1%
営業利益	241	232	96.2%
経常利益	234	224	95.7%
四半期(当期)純利益	147	136	92.4%

第3四半期連結累計期間の業績は、位置情報連動型ゲームが好調に推移いたしました。特に、他社名義で配信しております「ステーションメモリーズ！」のiOS及びAndroid向けは、プロモーションにより利用ユーザーを伸ばし、売上高も大幅に増加しております。

また、自社名義で配信しておりますアプリについては売上高の総額表示（注1）を行っておりますが、他社名義で配信しておりますアプリは売上高の純額表示（注2）を行っており、自社名義と比較して売上高営業利益率が高くなります。

従いまして、「ステーションメモリーズ！」のiOS及びAndroid向けの売上高が当初予想を上回り、他社名義の売上高割合が高まった結果、売上高の進捗率に比べて営業利益の進捗率が高くなっております。

上記の結果、当初業績予想（通期）に対して、第3四半期連結累計期間の実績の進捗率は、売上高76.1%、営業利益96.2%、経常利益95.7%、四半期（当期）純利益92.4%となりました。

（注1） 売上高の総額表示は、ユーザー利用代金を売上高として表示しており、プラットフォーム等の手数料を原価又は販売費及び一般管理費に表示しております。

（注2） 売上高の純額表示は、ユーザー利用代金からプラットフォーム等の手数料を控除した金額を売上高として表示しております。

② 業績予想の修正及び修正理由

項目(単位：百万円)	当初業績予想 (通期)	修正後業績予想 (通期)	増減額	増減率
売上高	1,633	1,717	84	5.2%
営業利益	241	254	12	5.2%
経常利益	234	246	11	5.1%
当期純利益	147	150	2	1.7%

当社の第3四半期連結累計期間の業績におきましては、位置情報連動型ゲームの「ステーションメモリーズ！」が利用ユーザーの増加により好調に推移しており、営業利益の当初業績予想（通期）に対する進捗率は96.2%に達しております。

また、来期以降の位置情報連動型ゲームの更なる成長のため、第4四半期連結会計期間（平成27年10月～平成27年12月）において、より積極的なプロモーションを行うことを計画しております。当該プロモーション費用は、第3四半期連結会計期間（平成27年7月～平成27年9月）と比較して2倍以上を計画しており、プロモーション費用の増額により、営業利益の積上げは大幅な減少を見込んでおります。

このような状況をふまえ、適時開示の要件には該当していませんが、業績予想の修正を行っております。

なお、その他の売上やコストにつきましては、実績状況を鑑みて反映しておりますが、概ね当初業績予想（通期）のとおりであります。

③ 業績予想などの将来予測情報の作成方法

将来予測情報の作成方法については、平成27年4月22日付の「平成27年12月期第1四半期決算短信」の添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する

説明」で公表しました内容から変更はありません。

#### ④ 業績予想に関する注意事項

当社では、プロモーションを行うにあたり、投資対効果を広告媒体ごとに検証し、出稿しております。そのため、第4四半期連結会計期間（平成27年10月～平成27年12月）においてプロモーション費用を大幅に増やす計画ですが、検証の結果次第では計画の見直しを行う場合があります。

プロモーション費用が計画を下回る場合には、営業利益等の各利益項目が増加いたしますが、新規ユーザーの獲得に影響し、売上が減少する可能性があります。また、計画を上回る場合には、逆の事象が発生する可能性もあります。

当社としましては、当期及び来期以降の売上・利益の最大化を念頭に、プロモーションを行ってまいります。

## 2. 配当予想の修正について

### (1) 配当予想の修正の内容

	1株当たり年間配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
前 回 予 想 (平成27年3月26日発表)	—	0円	0円
今 回 修 正 予 想	—	20円	20円
当 期 実 績	0円	—	—
前 期 実 績 (平成26年12月期)	0円	0円	0円

### (2) 修正の理由

当社は、株主に対する利益還元を経営の重要課題のひとつとして位置づけており、第3四半期連結累計期間の実績、及び通期業績見込み等をふまえ、20円の配当を実施することといたしました。

また、当社は今回の配当が初めての配当になります。今後の配当については今期と同水準を予定しておりますが、財政状態、業績、及び成長戦略等を総合的に勘案しながら、安定して配当できるように努めてまいります。

なお、同日に公表しました「自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ」に記載のとおり、自己株式の取得についても実施することとしております。

※ 本資料の業績予想等については、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上